



2020年1月16日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード8739 東証第一部)

**「未来創生 2号ファンド」
全電動垂直離着陸航空タクシー開発の先駆者、Joby Aviation に投資実行**

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018年7月に設立した「未来創生 2号ファンド」が、全電動垂直離着陸（all-electric vertical take-off and landing。以下、eVTOLと表記）技術を利用した旅客機的设计、製造を手がける Joby Aviation（本社：米国カリフォルニア州。以下、ジョビー社と表記）に対する投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。ジョビー社は eVTOL 航空機開発のパイオニアで、今回の調達資金を活用し、オンデマンド都市航空タクシー市場の商業的な立ち上げを目指します。

■ 投資先企業の概要

ジョビー社は、eVTOL 航空機の開発パイオニアとして 2009 年に JoeBen Bevirt 氏によって創設された eVTOL 航空機の開発、およびその商用化で、高速で静かで手ごろな価格の航空タクシーサービスの展開を可能にする米国カリフォルニアに拠点を置く航空宇宙企業です。ジョビー社の使命は、「自動車運転の 5 倍の速さで目的地に到着させ、都市における交通混雑を緩和し、持続可能な交通手段への移行を加速させる」ことです。

■ 「未来創生（1号）ファンド」及び「未来創生 2号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2号ファンドの運用を開始しました。2019 年 12 月末時点の運用資産残高は、1号と 2号あわせて、1,093 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com